

「城南小松菜」の播種適期把握

宮澤直樹・馬場 隆

(江戸川分場)

【要 約】「城南小松菜」の播種適期は施設栽培では1月下旬～5月下旬，9月下旬～11月上旬，露地栽培では3月上旬～5月下旬，9月下旬～10月中旬である。

【目 的】

昨年までに、「城南小松菜」は耐寒性が低く，抽苔が早いことを示した。また，高温期では折れやすく，絡みやすく，収穫後にすぐに萎れてしまうことを確認しているため，栽培は推奨できないことがわかってきた。そこで本年は，冬季から春季，春季から夏季，夏季から秋季，における播種日による品質の差を確認し，周年を通した播種適期を把握する。

【方法】

試験品種を「城南小松菜」（以下城南）とし，対照品種として冬季は「さくらぎ」，その他の季節は「いなむら」を供試し，①冬季から春季，②春季から夏季，③夏季から秋季，の3つの時期それぞれにおいて，約2週間ごとに3回播種し，生育調査を実施した。

【成果の概要】

1. これまで「城南」の11月下旬～12月播種で凍害，抽苔が問題になることを確認している。本試験では冬季～春季の栽培において（表1），1月21日，2月15日播種の施設栽培では，いずれも凍害による葉柄の剥離，葉の萎れは認められなかった。また，「城南」においてわずかに花芽が着生していたが，節間の伸長はなく，抽苔も問題とはならなかった。また，露地では3月上旬播種においても問題なく栽培が可能であった。
2. 春季から夏季の栽培において（表2），施設および露地のいずれにおいても，5月中旬，下旬播種に比べて，6月播種で「城南」の折れやすく，絡みやすくなっていた。また，収穫後の萎れについても，5月下旬播種までは収穫後常温日陰で30分経っても萎れは見られなかったが，6月播種は収穫後常温日陰で15分以内に萎れが見られた。
3. 夏季から秋季の栽培において（表3），施設および露地のいずれにおいても，9月下旬および10月播種に比べて9月中旬播種で「城南」の折れやすく，絡みやすくなっていた。また，収穫後の萎れについても，9月下旬播種以降は収穫後常温日陰で30分経っても萎れは見られなかったが，9月中旬播種は収穫後常温日陰で15分以内に萎れが見られた。
4. 「さくらぎ」および「いなむら」は「城南」で見られる欠点はいずれの時期においても確認されなかった。
5. 以上の結果および昨年までの結果を合わせると，「城南小松菜」の播種適期は施設栽培では1月下旬～5月下旬，9月下旬～11月上旬で，露地栽培では3月上旬～5月下旬，9月下旬～10月中旬である。

【残された課題・成果の活用・留意点】

1. 気候により，特に低温期では生育状況が変わるため，留意が必要。
2. 厳寒期の施設栽培では，播種数日前から出芽まで，施設を閉め切り保温する。

表1 冬季～春季における収穫調査結果

播種日	調査日	品種名	草丈 (cm)	地上部重 (g)	葉数 (枚)	最大葉長 (cm)	節間長 (mm)	花芽長 (mm)	凍害		
									剥離株率 (%)	萎れ株率 (%)	
1/21	3/14	城南小松菜	施設	29.4	31.5	5.7	31.1	6.8	0.15	0	0
	3/28	さくらぎ		31.4	72.9	8.8	30.9	12.9	0	0	0
2/15	4/8	城南小松菜	施設	39.0	57.0	7.5	38.8	9.6	0	0	0
	4/8	さくらぎ		28.4	54.3	8.1	27.9	5.2	0	0	0
3/4	4/14	城南小松菜	露地 ^a	34.1	48.7	7.4	33.7	8.8	0.15	0	0
	4/25	いなむら		26.6	74.8	11.2	26.5	8.0	0	0	0

表2 春季～夏季における収穫調査結果

播種日	調査日	品種名	草丈 (cm)	胚軸長 (cm)	地上部重 (g)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	葉厚 (mm)	葉身長 (cm)	葉幅長 (cm)	葉柄基部(mm)		節間長 (mm)	折れ ^b 易さ	絡み ^c 易さ	萎れ ^d	
											幅	厚さ					
5/13	6/6	城南小松菜	施設	31.6	1.2	25.7	5.8	27.7	0.31	14.2	11.8	9.5	3.8	7.7	2	3	無
	6/17	いなむら		32.1	1.6	65.5	9.7	52.9	0.43	16.6	10.3	13.5	5.2	10.1	1	1	無
5/13	6/7	城南小松菜	露地 ^a	35.6	1.1	44.1	6.5	31.2	0.34	15.1	13.1	11.2	4.6	8.0	2	3	無
	6/17	いなむら		32.3	1.1	93.8	11.1	57.6	0.43	16.5	10.4	14.9	5.2	10.4	1	1	無
5/27	6/22	城南小松菜	施設	28.2	0.9	17.2	5.2	28.4	0.29	12.1	10.3	9.2	3.8	8.1	2	3	無
	6/28	いなむら		26.9	1.0	33.2	7.8	47.8	0.36	13.9	8.8	11.3	4.1	10.0	1	1	無
5/26	6/22	城南小松菜	露地 ^a	28.1	1.0	22.9	5.8	32.8	0.33	13.8	11.0	9.4	3.8	7.9	2	3	無
	6/28	いなむら		27.1	0.8	47.9	9.9	53.8	0.39	13.9	9.1	12.5	4.5	9.8	1	1	無
6/16	7/7	城南小松菜	施設	23.8	1.2	14.9	5.5	34.3	0.29	11.2	10.2	7.7	3.1	11.0	2	5	有
	7/20	いなむら		31.9	1.1	55.6	11.1	56.3	0.42	16.2	9.6	12.6	4.2	11.7	1	2	無
6/14	7/7	城南小松菜	露地 ^a	29.3	1.0	29.4	6.6	37.3	0.33	13.9	12.6	9.5	3.6	10.7	3	5	有
	7/20	いなむら		32.9	1.0	59.1	11.3	58.4	0.43	16.6	9.0	11.5	4.3	11.9	1	2	無

表3 夏季～秋季における収穫調査結果

播種日	調査日	品種名	草丈 (cm)	胚軸長 (cm)	地上部重 (g)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	葉厚 (mm)	葉身長 (cm)	葉幅長 (cm)	葉柄基部(mm)		節間長 (mm)	折れ ^b 易さ	絡み ^c 易さ	萎れ ^d	
											幅	厚さ					
9/12	10/3	城南小松菜	施設	25.7	1.7	11.4	4.7	29.4	0.2	11.6	9.8	8.2	2.9	11.5	3	4	有
	10/12	いなむら		31.5	1.7	39.5	7.5	50.3	0.4	16.7	10.0	11.8	4.1	12.5	1	1	無
9/12	10/11	城南小松菜	露地 ^a	28.0	0.8	22.1	5.7	35.4	0.3	14.1	12.4	9.7	3.5	6.4	3	3	有
	10/25	いなむら		28.7	1.0	44.6	9.0	54.3	0.4	15.0	9.2	12.1	4.3	8.9	1	1	無
9/27	10/25	城南小松菜	施設	27.2	1.2	10.9	4.5	25.4	0.3	11.8	9.8	7.9	3.0	6.8	2	2	無
	11/2	いなむら		29.7	1.6	27.3	6.2	46.4	0.4	14.7	8.8	12.3	3.9	7.1	1	1	無
10/11	11/11	城南小松菜	施設	30.5	1.5	20.7	4.7	33.7	0.3	14.3	11.9	10.6	3.6	7.1	2	2	無
	11/17	いなむら		27.0	1.7	35.5	6.9	55.1	0.4	13.9	8.4	12.5	4.1	6.6	1	1	無
10/11	11/17	城南小松菜	露地 ^a	34.5	1.0	32.9	6.0	33.8	0.3	16.0	12.9	11.8	3.8	6.6	2	2	無
	12/7	いなむら		32.0	1.0	95.1	9.0	54.0	0.5	17.3	11.9	17.6	5.3	8.3	1	1	無

a) 露地栽培では、いずれの栽培時期においても保温資材の被覆無し

b) 折れ易さ：1 (折れ難い) ～2 (やや折れ難い) ～3 (中) ～4 (やや折れ易い) ～5 (折れ易い)

c) 絡み易さ：1 (絡み難い) ～2 (やや絡み難い) ～3 (中) ～4 (やや絡み易い) ～5 (絡み易い)

d) 萎れ：収穫後の萎れを評価。

無：収穫後常温日陰で30分経っても萎れ無し。

有：収穫後常温日陰で15分経たないうちに萎れが認められる。